



沿革

安政4（1857）年9月26日（11月12日）、オランダ海軍医として来日していたポンペ・ファン・メールデルフォールトが、長崎奉行所西役所において医学伝習を開始したことをもって、長崎大学の創基とする。

安政4. 11 (1857年)	・長崎奉行所西役所の一室において医学伝習を開始	11. 1 (1878年)	・長崎病院医学場を長崎医学校と改称
文久元. 9 (1861年)	・養生所を開設（長崎大学病院の起源）	2	・官立長崎師範学校廃止。建物及び備品は長崎県に移管
	・医学所を養生所横に併置（医学教育機関としての整備が完了）	6	・崎陽師範学校を長崎師範学校と改称
慶応元 (1865年)	・養生所を精得館と改称。10月、物理・化学などの基礎科学教育機関である分析窮理所を設置	12. 1 (1879年)	・長崎医学校を県立とし、長崎病院を医学校附属に代用
明治元. 10 (1868年)	・精得館を長崎府医学校と改称	16 (1883年)	・文部省令医学校通則に基づいて、長崎医学校は甲種医学校（卒業後無試験で医師免許を授与。全国で13校）に指定される
2 (1869年)	・長崎県病院医学校	17. 6 (1884年)	・長崎県女子師範学校設置
4. 10 (1871年)	・長崎県病院医学校が文部省所管となり、長崎医学校と改称	19. 4 (1886年)	・長崎県女子師範学校が長崎師範学校女子部となる
7 (1874年)	・台湾出兵により、長崎医学校廃止。病院は藩地事務支局病院となる	6	・長崎師範学校女子部に附属幼稚園を設置
2	・官立長崎師範学校設置	6	・師範学校令が公布され、長崎師範学校は長崎県尋常師範学校と改称
3	・長崎県小学教則講習所設置	20. 8 (1887年)	・中学校令に基づいて第五高等中学校医学部を設置。9月、長崎医学校は廃止
8 (1875年)	・台湾出兵終了により、藩地事務支局病院の建物等が長崎県に復帰。政府補助のもと長崎病院を設置	23. 6 (1890年)	・第五高等中学校医学部に薬学科を設置（薬学部起源）
2	・長崎県小学教則講習所を養成所と改称	24. 9 (1891年)	・西彼杵郡浦上山里村に第五高等中学校医学部、同薬学科が新築移転（坂本キャンパスの設置起源）
11	・官立長崎師範学校附属小学校開設	27. 9 (1894年)	・高等学校令に基づいて第五高等中学校医学部は第五高等学校医学部及び同薬学科と改称
9. 1 (1876年)	・養成所を小学教師養成所と改称	31. 4 (1898年)	・師範教育令に基づいて、長崎県尋常師範学校は長崎県師範学校と改称
5	・小学教師養成所を長崎県公立師範学校と改称	34. 3 (1901年)	・専門学校令に基づいて、第五高等学校医学部は第五高等学校から分離独立し長崎医学専門学校及び同薬学科を設置
6	・長崎病院内に医学場を開設し、医学教育機関が再開		
10. 4 (1877年)	・長崎県公立師範学校を崎陽師範学校と改称		

36 (1903年)	・ 長崎県立長崎病院に附属看護婦養成所を設置	14. 5 (1939年)	・ 長崎医科大学に臨時附属医学専門部設置
38. 3 (1905年)	・ 長崎高等商業学校を設置（経済学部、片淵キャンパスの起源）	17. 3 (1942年)	・ 長崎県青年学校教員養成所女子部を諫早高等女学校内に開設
41. 4 (1908年)	・ 長崎県師範学校女子部が長崎県女子師範学校として分離独立	3	・ 長崎医科大学附属東亜風土病研究所設置（熱帯医学研究所の起源）
大正 6. 5 (1917年)	・ 長崎高等商業学校に海外貿易科を設置	9	・ 長崎高等商業学校研究館を大東亜経済研究所と改称
9. 11 (1920年)	・ 長崎高等商業学校に研究館が寄附される（現在の瓊林会館）	18. 4 (1943年)	・ 師範教育令改正に基づいて、長崎県師範学校・長崎県女子師範学校が統合されて官立長崎師範学校となり、専門学校水準に昇格
10 (1921年)	・ 長崎県実業補習学校教員養成所を諫早町に設置	19. 3 (1944年)	・ 長崎高等商業学校を長崎経済専門学校に改称
11. 4 (1922年)	・ 長崎県より長崎病院が国に寄附され、これを長崎医学専門学校附属医院とする	4	・ 長崎経済専門学校に長崎工業経営専門学校を併設
12. 3 (1923年)	・ 附属医院に助産婦及看護婦養成所を設置		・ 師範教育令改正に基づいて、長崎県青年学校教員養成所（男子部・女子部）は官立長崎青年師範学校となり、専門学校水準に昇格、長崎県青年学校教員養成所水産科は廃止
	・ 官立医科大学官制によって長崎医学専門学校は長崎医科大学に昇格し、附属医学専門部及び附属薬学専門部を併置		・ 長崎医科大学の臨時附属医学専門部を附属医学専門部に改称
14. 4 (1925年)	・ 長崎医科大学附属医学専門部廃止	20. 6 (1945年)	・ 長崎医科大学附属医院産婆看護婦養成所を厚生女学部に改称
昭和 3 (1928年)	・ 長崎県実業補習学校教員養成所に水産科新設（水産学部の起源）	8	・ 長崎市に原爆投下 長崎医科大学（附属医学専門部、附属薬学専門部を含む）898名、長崎師範学校54名、長崎高等商業学校27名、長崎青年師範学校1名の計980名の学生、教職員が犠牲となる
4. 2 (1929年)	・ 長崎医科大学附属医院助産婦及看護婦養成所を産婆看護婦養成所に改称		
3	・ 長崎高等商業学校に貿易別科設置		
12	・ 長崎医科大学附属野母臨海実験所落成		
10. 4 (1935年)	・ 長崎県実業補習学校教員養成所を長崎県立青年学校教員養成所と改称		
12. 4 (1937年)	・ 長崎県師範学校、西彼杵郡西浦上村に新築移転（現在の附属小・中学校敷地）		

・原爆被災後の復興の歴史は次のとおりです。

21. 4 (1946年)	・長崎工業経営専門学校廃止。大東亜経済研究所を産業経営研究所と改称	4	・水産学部 to 専攻科（特設専攻科）設置
22. 3 (1947年)	・長崎医科大学附属東亜風土病研究所，同風土病研究所と改称	29. 4 (1954年)	・長崎大学大村分校を長崎大学分校と改称
5	・長崎医科大学附属医学専門部廃止	30. 4 (1955年)	・経済学部 to 経済学専攻科設置
23. 4 (1948年)	・長崎高等学校（旧制）設置	31. 1 (1956年)	・医学部に講座制施行
24. 5 (1949年)	・長崎青年師範学校に水産科再設置	4	・大学院医学研究科設置
	・国立学校設置法（昭和24年法律第150号）により，旧制の長崎医科大学，長崎医科大学附属薬学専門部，長崎経済専門学校，長崎師範学校，長崎青年師範学校，長崎高等学校を包括し，学芸学部（甲類・小学校教員養成科，中学校高等学校教員養成科，乙類・小学校教員養成科，中学校高等学校教員養成科），経済学部（経済学科，商学科），医学部（医学科），薬学部（薬学科），水産学部（漁業学科，水産製造学科，水産増殖学科）の5学部 to 附属図書館を置き，風土病研究所が附置され，学部附属の学校又は教育施設として，学芸学部 to 小学校，中学校，幼稚園，医学部に病院，病院分院，看護婦養成施設を持つ新制長崎大学を設置	35. 3 (1960年)	・医学部に附属助産婦学校設置
昭和25. 3 (1950年)	・長崎高等学校廃止	4	・補導部を学生部と改称
5	・大村一般教養部，長崎一般教養部を統合して大村分校設置	35. 3 (1960年)	・薬学部 to 薬学専攻科設置
26. 3 (1951年)	・長崎大学商業短期大学部併設	37. 4 (1962年)	・長崎医科大学廃止
	・医学部附属看護学校設置	4	・水産学部 to 水産専攻科設置
6	・長崎医科大学附属薬学専門部，長崎経済専門学校，長崎師範学校，長崎青年師範学校廃止	39. 4 (1964年)	・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置
27. 6 (1952年)	・厚生補導部を補導部と改称	40. 3 (1965年)	・教養部設置（分校廃止）
28. 3 (1953年)	・水産学部 to 附属練習船「長崎丸」竣工	4	・薬学専攻科廃止
	・学芸学部が長崎市大橋町に移転（現在の文教キャンパス）	41. 4 (1966年)	・大学院薬学研究科設置
			・学芸学部 to 学芸専攻科設置
		42. 4 (1967年)	・保健管理センター設置
		6	・工学部（機械工学科，電気工学科）設置
		43. 4 (1968年)	・学芸学部を教育学部と改称，これに伴い学芸専攻科を教育専攻科に改称
		44. 4 (1969年)	・教育学部に養護学校教員養成課程設置
		12	・薬学部 to 製薬化学科設置
			・工学部に構造工学科設置
			・風土病研究所を熱帯医学研究所と改称
			・水産学部 to 附属水産実験所設置
			・経済学部 to 貿易学科設置
			・工学部に土木工学科設置
			・電子計算機室設置

45. 4 (1970年)	・水産専攻科改廃止（漁業専攻中の特設専攻科を遠洋漁業専攻と改称し、漁業専攻、水産製造専攻、水産増殖専攻は廃止） ・大学院水産学研究科設置 ・工学部に材料工学科設置	51. 4 (1976年)	・工学部に電子工学科設置 ・大学院工学研究科設置（機械工学・電気工学・構造工学・材料工学） ・工学研究科に工業化学専攻設置 ・九州地区国立大学島原共同研修センター設置
46. 2 (1971年)	・附属図書館の整備統合（教育学部分館、薬学部分館、水産学部分館、熱帯医学研究所分館廃止・経済学部分館、医学部分館は従来どおり存置）	52. 4 (1977年)	・工学研究科に土木工学専攻設置 ・工学専攻科廃止 ・歯学部創設準備室設置
4	・教育学部に附属養護学校設置 ・経済学部商学科を経営学科と改称 ・大学院薬学研究科に製薬化学専攻設置 ・工学部に工学専攻科（機械工学、電気工学、構造工学）設置	53. 3 (1978年)	・商業短期大学部商業学科を商経学科（経済・法律専攻、経営情報専攻）と改称 ・R I センター設置
47. 4 (1972年)	・工学部に工業化学科設置	4	・工学部に機械工学第二学科設置
5	・医学部に附属原爆医学資料センター設置 ・薬学部附属薬用植物園設置	54. 4 (1979年)	・熱帯医学研究所に附属熱帯性病原体感染動物実験施設設置 ・附属図書館医学部分館を医学分館と改称
48. 4 (1973年)	・水産学部の漁業学科、水産製造学科及び水産増殖学科を水産学科に改組 ・工学部工学専攻科に土木工学専攻設置 ・教育学部に附属教育工学センター設置	5	・情報処理センター設置（電子計算機室廃止）
49. 4 (1974年)	・大学院水産学研究科漁業学専攻、水産製造学専攻及び水産増殖学専攻を水産学専攻に改称 ・工学部工学専攻科に材料工学専攻設置 ・教育学部に幼稚園教員養成課程設置 ・医学部附属原爆医学資料センターを医学部附属原爆被災学術資料センターと改称 ・熱帯医学研究所に附属熱帯医学資料室設置	10	・歯学部歯学科設置 ・歯学部創設準備室廃止
50. 4 (1975年)	・水産学部に附属練習船「鶴洋丸」竣工 ・排水等分析センター設置	11	・排水等分析処理センター設置（排水等分析センター廃止）
6		55. 4 (1980年)	・医学部に附属動物実験施設設置 ・歯学部附属病院創設準備室設置
		56. 4 (1981年)	・工学研究科に電子工学専攻設置
		57. 4 (1982年)	・歯学部附属病院設置 ・歯学部附属病院創設準備室廃止 ・商業短期大学部商経学科の専攻課程を2専攻課程から3専攻課程（経済専攻、経済法学専攻、経営情報専攻）に改組
		58. 4 (1983年)	・工学研究科に機械工学第二専攻設置 ・医療技術短期大学部創設準備室設置 ・国際交流会館設置

59. 4 (1984年)	・医療技術短期大学部（看護学科）併設 ・医療技術短期大学部創設準備室廃止 ・商業短期大学部を商科短期大学部と改称 ・水産学部水産学科18講座を6大講座に改組	平成元. 5 (1989年)	・熱帯医学研究所を全国共同利用の研究所に改組
10	・医療技術短期大学部に理学療法学科及び作業療法学科設置	2. 4 (1990年)	・工学部機械工学科及び機械工学第二学科を機械システム工学科に改組
61. 4 (1986年)	・医学部附属看護学校廃止 ・大学院歯学研究科設置 ・薬学研究科に医療薬科学専攻（博士課程前・後期）設置（薬学専攻及び製薬化学専攻を改組） ・薬学部の薬学科及び製薬化学科を薬科学科に改組 ・教育学部に附属教育実践研究指導センター設置（附属教育工学センター廃止）	6	・地域共同研究センター設置
6	・計測・分析センター設置 ・外国人留学生指導センター設置	3. 4 (1991年)	・経済学部経済学科8学科目を3大学科目に、経営学科8学科目を2大学科目に、貿易学科6学科目をファイナンス学科2大学科目に改組、2共通学科目を廃止
9	・環境保全センター設置（排水等分析処理センター廃止）	4. 4 (1992年)	・工学部構造工学科4講座を2大講座に、土木工学科4講座を社会開発工学科2大講座に、材料工学科4講座を2大講座に、工業化学科4講座を応用化学科2大講座に改組
62. 4 (1987年)	・医学部附属助産婦学校廃止 ・工学研究科に海洋生産開発学専攻（後期3年博士課程）設置 ・医療技術短期大学部に専攻科（助産学特別専攻）設置	5. 4 (1993年)	・アイソトープ総合センター設置（RIセンター廃止）
63. 4 (1988年)	・大学院海洋生産科学研究科（後期3年博士課程）設置 ・大学院工学研究科海洋生産開発学専攻は、海洋生産科学研究科へ移行 ・工学部電気工学科及び電子工学科を電気情報工学科に改組 ・総合情報処理センター設置（情報処理センター廃止）	6. 4 (1994年)	・大学院工学研究科電気工学専攻及び電子工学専攻を電気情報工学専攻と改称
		6	・生涯学習教育研究センター設置
		7. 4 (1995年)	・大学院教育学研究科設置 ・教育専攻科廃止
		6	・大学院工学研究科機械工学専攻及び機械工学第二専攻を機械システム工学専攻と改称
		8. 5 (1996年)	・熱帯医学研究所10部門を3大部門に改組
		9. 4 (1997年)	・大学院経済学研究科設置 ・経済学専攻科廃止
			・大学院工学研究科土木工学専攻を社会開発工学専攻に、工業化学専攻を応用化学専攻に改称
			・留学生センター設置（外国人留学生指導センター廃止）
			・医学部に附属原爆後障害医療研究施設設置（附属原爆後障害医療研究施設及び附属原爆被災学術資料センター廃止）

10 10. 4 (1998年)	・水産学部に附属海洋資源教育研究センター設置（附属水産実験所廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯病資料情報センター設置（附属熱帯医学資料室廃止） ・環境科学部（環境科学科）設置 ・教養部廃止 ・経済学部経済学科，経営学科及びファイナンス学科を総合経済学科に改組（昼夜開講制の実施） ・教育学部小学校教員養成課程，中学校教員養成課程，養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程を学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程に改組 ・大学院教育学研究科教科教育専攻に保健体育専修及び家政教育専修設置 ・工学部電気情報工学科を電気電子工学科及び情報システム工学科に改組 ・機器分析センター設置（計測・分析センター廃止）	13. 4 (2001年) 10 14. 4 (2002年)	・大学院生産科学研究科海洋生産開発学専攻及び海洋資源学専攻を海洋生産科学専攻及び物質科学専攻に改組 ・教育学部に附属教育実践総合センター設置（附属教育実践研究指導センター廃止） ・熱帯医学研究所に附属熱帯感染症研究センター設置（附属熱帯病資料情報センター廃止） ・医学部医学科の31小講座，1大講座を6大講座に改組 ・医学部に保健学科設置 ・大学院環境科学研究科設置 ・大学院医歯薬学総合研究科設置 ・大学教育機能開発センター設置 ・アドミッションセンター設置 ・医学部医学科の6大講座を4大学科目に改組 ・歯学部歯学科の18小講座を3大学科目に改組
11. 4 (1999年)	・大学院薬学研究科に臨床薬学専攻（独立専攻）を設置し，医療薬科学専攻を薬科学専攻に改称 ・副学長の設置（学生部長の廃止） ・事務局及び学生部の事務局一元化に伴い，学務部設置（学生部の廃止）	15. 4 (2003年)	・大学院医歯薬学総合研究科に附属原爆後障害医療研究施設及び附属薬用植物園設置（学部附属施設から研究科附属施設へ移行） ・先導生命科学研究支援センター設置（アイソトープ総合センター，遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設の廃止）
12. 4 (2000年)	・大学院教育学研究科教科教育専攻に社会科教育専修及び理科教育専修設置 ・大学院医学研究科に新興感染症病態制御学系専攻（独立専攻）設置 ・大学院生産科学研究科（区分制博士課程）設置 ・遺伝子実験施設設置 ・長崎大学商科短期大学部（併設）廃止	10 16. 4 (2004年)	・医学部・歯学部附属病院設置（医学部附属病院及び歯学部附属病院の統合） ・国立大学法人法（平成15年法律第112号）により，国立大学法人長崎大学が長崎大学を設置 ・大学院経済学研究科に経営意思決定専攻（博士後期課程）設置

	・大学院生産科学研究科に環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻（博士前期課程）並びに環境科学専攻（博士後期課程）設置 ・水産学部の水産専攻科廃止 ・知的財産本部設置		・熱帯医学研究所に附属アジア・アフリカ感染症研究施設及び附属熱帯医学ミュージアム設置（附属熱帯感染症研究センター廃止） ・保健管理センターを保健・医療推進センターに改組
12	・情報メディア基盤センター設置（総合情報処理センターの廃止） ・共同研究交流センター設置（地域共同研究センター、機器分析センター及び環境保全センターの廃止）	21. 4 (2009年) 10	・医学部・歯学部附属病院を病院に改組 ・男女共同参画推進センター設置（時限設置）
17. 4 (2005年)	・計画・評価本部設置 ・国際連携研究戦略本部設置 ・環東シナ海海洋環境資源研究センター設置（水産学部附属海洋資源教育研究センターの廃止） ・心の教育総合支援センター設置（時限設置） ・長崎大学医療技術短期大学部（併設）廃止	22. 4 (2010年)	・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（修士課程）設置 ・広報戦略本部設置 ・国際連携研究戦略本部東京オフィス設置 ・先端計算研究センター設置
18. 2 (2006年) 4	・大学院海洋生産科学研究科廃止 ・大学院医歯薬学総合研究科に熱帯医学専攻（修士課程）及び保健学専攻（修士課程）設置 ・薬学部薬科学科を6年制課程の薬学科及び4年制課程の薬科学科に改組	11	・国際連携研究戦略本部東京オフィスを長崎大学東京事務所に改組
5	・大学院歯学研究科廃止	23. 4 (2011年)	・工学部7学科（機械システム工学科，電気電子工学科，情報システム工学科，構造工学科，社会開発工学科，材料工学科及び応用化学科）を1学科（工学科）に改組 ・大学院工学研究科及び大学院水産・環境科学総合研究科設置（大学院生産科学研究科を改組） ・熱帯医学研究所3部門を4部門（病原体解析，宿主病態解析，環境医学，臨床研究）に改組
7	・産学官連携機構設置		・環東シナ海海洋環境資源研究センターを大学院水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターに改組
19. 2 (2007年) 3	・大学院薬学研究科廃止 ・大学院環境科学研究科廃止		・心の教育総合支援センターの廃止
20. 4 (2008年)	・教育学部学校教育教員養成課程及び情報文化教育課程の2課程を学校教育教員養成課程の1課程に改組 ・大学院教育学研究科に教科実践専攻（修士課程）及び教職実践専攻（専門職学位課程）設置 ・大学院国際健康開発研究科設置	6	・産学官連携戦略本部設置（産学官連携機構，知的財産本部，共同研究交流センター及び生涯学習教育研究センターの廃止）
		12	・研究推進戦略室設置
		24. 1 (2012年)	・先端創薬イノベーションセンター設置

4	・大学院医歯薬学総合研究科に生命薬科学専攻（博士前期・後期）設置 ・大学院医学研究科廃止 ・言語教育研究センター設置 ・核兵器廃絶研究センター設置			・水産・環境科学総合研究科環境科学専攻（博士前期課程）の設置（環境共生政策学専攻及び環境保全設計学専攻の改組） ・インスティテューショナル・リサーチ室の設置
12	・地域教育連携・支援センター設置		9	・男女共同参画推進センターをダイバーシティ推進センターに改組
25. 4 (2013年)	・原爆後障害医療研究所設置（大学院医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設を改組）		10	・地方創生推進本部の設置
7	・熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設の廃止 （熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設の機能を先導生命科学研究支援センター動物実験施設へ集約化）	28. 4 (2016年)		・医歯薬学総合研究科災害・被ばく医療科学共同専攻（修士課程）の設置 ・医歯薬学総合研究科先進予防医学共同専攻（博士課程）の設置 ・原子力災害対策戦略本部の設置 ・海洋未来イノベーション機構の設置
8	・障がい学生支援室の設置			・水産・環境科学総合研究科附属環東シナ海環境資源研究センターを海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センターに改組
10	・国際教育リエゾン機構の設置（留学生センターの廃止） ・大学教育イノベーションセンターの設置（大学教育機能開発センター及びアドミッションセンターの統合）	10		・子どもの心の医療・教育センターの設置
26. 4 (2014年)	・研究推進戦略本部の設置（研究推進戦略室の廃止） ・多文化社会学部の設置 ・教育学研究科教職実践専攻の改組（教育学研究科教科実践専攻を教職実践専攻に一本化） ・ICT 基盤センターの設置（情報メディア基盤センターの廃止） ・福島未来創造支援研究センターの設置	29. 4 (2017年)		・地域教育総合支援センターの設置（地域教育連携・支援センター及び教育学部附属教育実践総合センターの統合） ・生命医科学域の設置 ・感染症共同研究拠点の設置
9	・原爆後障害医療研究所に附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター設置	6		・医歯薬学総合研究科に附属先進予防医学研究センター設置
27. 4 (2015年)	・熱帯医学・グローバルヘルス研究科（修士課程）の設置（医歯薬学総合研究科熱帯医学専攻及び国際健康開発研究科の改組）	30. 1 (2018年)		・インスティテューショナル・リサーチ推進本部の設置（インスティテューショナル・リサーチ室の廃止） ・国際健康開発研究科の廃止 ・多文化社会学研究科多文化社会学専攻（修士課程）の設置 ・熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻（博士後期課程）及び長崎大学—ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）の設置 ・先端計算研究センターの廃止 ・生産科学研究科の廃止

7	・グローバル連携機構，研究開発推進機構，留学生教育・支援センター及び環境保全センターの設置（国際連携研究戦略本部，産学官連携戦略本部，研究推進戦略本部及び国際教育リエゾン機構の改組）	7	・海洋未来イノベーション機構に実海域技術開発研究推進センターの設置
10	・校友会の設置		
31. 4 (2019年)	・人文社会科学域及び総合生産科学域の設置		
令和元.10 (2019年)	・キャリアセンターの設置		
2. 4 (2020年)	・情報データ科学部の設置		
	・多文化社会学研究科多文化社会学専攻（博士後期課程）の設置		
7	・教育開発推進機構の設置（大学教育イノベーションセンター及び地域教育総合支援センターの改組）		
3. 4 (2021年)	・保健・医療推進センターを保健センターに改組		
10	・放射線総合センターの設置（先導生命科学支援センターの改組）		
4. 4 (2022年)	・感染症研究出島特区の設置		
	・高度感染症研究センターの設置（感染症共同研究拠点の廃止） 高度感染症研究センターに附属BSL-4施設を設置		
	・教員免許状更新講習支援室の廃止		
10	・プラネタリーヘルス学環の設置		
6. 4 (2024年)	・総合生産科学研究科の設置		
6	・グローバルリスク研究センターの設置		
10	・ディベロップメントオフィスの設置		
7. 4 (2025年)	・未来教育創造センターの設置		
	・原爆後障害医療研究所の改組（附属放射線・環境健康影響共同研究推進センターの廃止）		